

水害に備える

全国各地で発生している大雨による水害。気候変動の影響もあり、今後、札幌でも大規模な水害の発生が懸念されます。今回の特集では、水害から身を守るために必要な備えと、水害が発生した時に取るべき行動を紹介します。

詳細
河川の整備は河川事業課
☎818-3414
防災は危機管理課
☎211-3062

過去に市内で起こった水害

道内で、初めて大雨特別警報が発表された平成26年(2014年)9月
厚別川の増水により、道路が崩れるなどの被害が発生



豪雨により2度の大洪水が発生
昭和56年(1981年)8月
豊平川などが氾濫し、市内で16,555件の浸水被害が発生

提供:北海道開発局

昭和56年に起きた水害を体験した方に聞きました

石山地区町内会
連合会会長
福士昭夫 さん

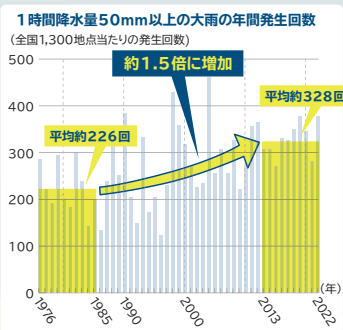


当時は、石山地区を流れる穴の川が氾濫して自宅のすぐ近くまで水が流れてきました。自宅の裏を流れる豊平川の水位も増していて、恐怖を感じたことを覚えています。浸水被害を受けた方への支援が行き届かない中、地域の住民や消防団が協力して支え合ったことが印象深いです。
あの水害を経験して、普段から住民同士で連絡を取り合うことや、避難方法、備蓄品を確認しておくなど、日頃の備えが何よりも大切なのだと今も心に刻んでいます。

近年、全国でも水害が多発

短時間に強い雨が降る回数が増加

全国各地で1時間に50mm以上の雨が降った年間の回数は、統計開始後10年間(1976~1985年)の平均値と比べて、最近10年間(2013~2022年)の平均値は約1.5倍に増加しました。



出典:気象庁ホームページ。グラフは、気象庁「全国の1時間降水量50mm以上の大雨の年間発生回数の経年変化(1976~2022年)」を加工し本局作成

今後、札幌で水害が起こると

大雨で豊平川などの堤防が決壊すると、氾濫した水が数時間で市街地に到達し、都心部でも大洪水が起こる可能性があります。



▶豊平川の堤防が決壊し、氾濫した場合のシミュレーション動画が見られます



平成30年7月豪雨
岡山県では4,000棟以上の住宅が全壊

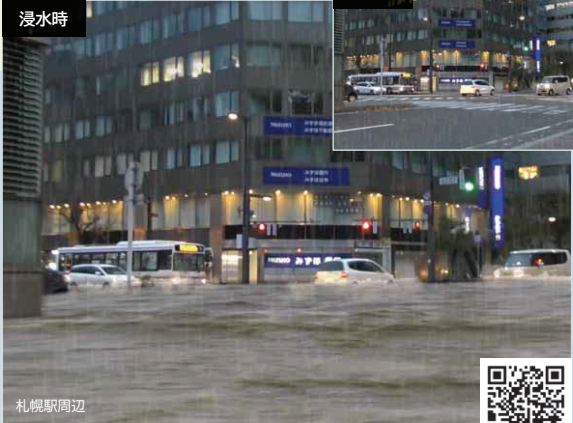
提供:北海道開発局

令和2年7月豪雨
球磨川流域(熊本県人吉市ほか)では市街地を含む1,000ヘクタール以上が浸水



提供:北海道開発局

【都心部の浸水イメージ】



札幌駅周辺
出典:北海道開発局 豊平川の氾濫 - 豊平川の堤防が決壊したら -

普段からできること

自宅や職場、学校など、場所に
よって水害時の行動は異なります。
1日のうち、長い時間滞在する場
所の危険性や避難方法などを確認
しておきましょう。家族がいる方
は、いざという時の一人一人の行
動を話し合っておくことも
大切です。



1〜3月に配布した ハザードマップを確認

1月に浸水ハザードマップを改定し、市内の全世帯に
配布しました。洪水と内水氾濫の、地域ごとの危険性を
地図で説明しているほか、大雨災害の時の避難場所や避
難行動も確認できるので、必ず読んで保管しておきま
しょう。全ての区版を市ホームページで見られます。



適切な避難行動を知る

自分がいる場所の危険性や、周
囲の浸水状況などに応じて避難を
判断します。建物が高層で、水が
引くまで自宅にとどまれる備えが
ある場合は「在宅避難」を、そう
でない場合は安全な場所にある親
戚宅や避難場所へ「立ち退き避
難」をしましょう。

在宅避難

避難のポイント

- ・浸水ハザードマップで、想定さ
れる浸水の深さなど、在宅避難
が可能な条件を確認しておく



立ち退き避難

避難のポイント

- ・川や崖の近く、地下空間やアン
ダーパスなど、危険な場所は通
らない
- ・マンホールのふたが外れること
があるため、浸水時は傘などで
地面を確認し転落に気を付ける
- ・運動靴を履き、リュックサック
を使用して両手を空けるなど、
動きやすい格好で、2人以上で
行動する



災害の種類



【洪水】

大雨により河川が増水し、堤防を越えて
水があふれたり、堤防が決壊したりする
ことで発生。長時間にわたって大雨が降っ
た場合などに起こりやすい



【内水氾濫】

大雨により下水道などで雨水を排水
できず、地上にあふれることで発
生。短時間であっても強い雨が降っ
た場合などに起こりやすい



【土砂災害】

大雨などが引き金となり、山や
崖が崩れたり、水の混じった土
や石が川から流れ出たりして大
きな被害が発生

いま一度、備蓄品の確認を

災害発生から数日は、普段通りに買い物などができないことが想定さ
れます。生活必需品を日頃から備蓄しておくことが、災害時に身を守る
ことにつながります。左記のほかにも、自分が毎日使用している物など
は準備しておくことが重要。寒冷地という地域性に合わせた用意もし
ておくようにしましょう。

※❄️は冬の防寒対策に有効

災害備蓄品リスト

- | | |
|------------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料品・飲料水 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> 衣類 |
| <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 厚手の手袋 |
| <input type="checkbox"/> 粉ミルク・液体ミルク・紙おむつ | <input type="checkbox"/> 救急セット・常備薬 |
| <input type="checkbox"/> 乾電池・モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> お薬手帳 |
| <input type="checkbox"/> 水の要らないシャンプー | <input type="checkbox"/> ライター |
| <input type="checkbox"/> ペット用品（餌など） | <input type="checkbox"/> 現金 |
| <input type="checkbox"/> カセットこんろ | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> ランタン（LEDライトなど） | <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ❄️ |
| <input type="checkbox"/> 給水ポリタンクなどの給水容器 | <input type="checkbox"/> 発電機❄️ |
| <input type="checkbox"/> 携帯トイレ | <input type="checkbox"/> 防寒着・冬靴❄️ |
| <input type="checkbox"/> 工具・ロープ・救援時の笛 | <input type="checkbox"/> 寝袋・毛布❄️ |
| <input type="checkbox"/> 防災保温シート | <input type="checkbox"/> 携帯カイロ❄️ |
| <input type="checkbox"/> 段ボール・新聞紙 | |



水害が起きたら

警戒レベルと取るべき行動を再確認

洪水や土砂災害の危険が高まったら、市から避難情報を発令します。警戒レベル3の「高齢者等避難」が出たら危険な場所にいる高齢の方などはできるだけ早めに避難し、警戒レベル4の「避難指示」までに危険な場所から全員が必ず避難してください。

警戒レベル	避難情報等	取るべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず命が危険な状況。直ちに身の安全を確保 ・必ず発令されるわけではないため、発令を待たない
避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難！		
4	避難指示	危険な場所から全員避難 ・指定緊急避難場所や親戚、知人宅などの安全な場所に全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢の方や障がいのある方は、できるだけ早めに避難 ・他の方も必要に応じて避難の準備
2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

水害に強いまちづくりを進めています

市では、大雨時の洪水などを防ぐことももちろん、被害を最小限にとどめるために、国や北海道と連携して洪水に備える「流域治水」の取り組みをしています。水害に強い街であるために、今後も対策を進めていきます。

取り組みの例

- ・河川の幅を広げるなどの改修
- ・学校のグラウンドや公園に雨水をためる施設の整備
- ・大雨時に雨水を市街地から排出するための下水道管の整備



▲大雨による増水に対応するために改修された雁来川

流域治水などを学べる河川事業パネル展を6/30金～7/2日(土)にチ・カ・ホで開催します(詳細は15ページ)

必要な情報を取得

河川の水位や天気、避難場所などの情報は、テレビやラジオをはじめ、スマートフォンやパソコンを活用して取得できます。公的機関が発信する正確な情報に元へ、速やかに行動することが大切です。

テレビ、ラジオ



防災アプリ「そなえ」

緊急情報のプッシュ通知の受信や、避難場所を確認できます。



防災アプリ そなえ

検索

さっぽろ防災ポータル

河川の水位や避難情報が発令されている区域、避難場所の開設状況を確認できます。

さっぽろ防災ポータル

検索

危機管理局Twitter

災害情報をタイムリーに発信します。

@sapporo_bousai 検索

避難情報等電話サービスを開始

6/1(木)から

携帯電話やスマートフォンをお持ちでない65歳以上の方を対象に、災害時に自宅の固定電話へ避難情報などの案内を自動音声で配信します。

配信内容 大雨、土砂災害による避難情報、国民保護情報（Jアラートなど）

費用 無料

申し込み 区役所、まちづくりセンターなどで配布中の申込書を、危機管理課へ随時提出

詳細 危機管理課 ☎211-3062



水害への万全の備えを

水害には、気象情報や河川の水位情報などに基づいて早めに備えることが重要です。いざという時に身を守るために、できることをあらためて考えてみましょう。

防災ハンドブックを配布しています

地震や水害などが発生した時の行動や、日頃から大切な備えを詳しく紹介しています。



配布場所 区役所（1ページ）、市役所7階危機管理課、ホームページなど



▲学校のグラウンドにつくられた、雨水をためる施設